東京経済大学

お知らせ

2025年10月28日

【東京経済大学 SDGs シンポジウム】12月4日(木)開催「外国ルーツの子どもたちと地域の未来~地域で広げる支援の輪~」

東京経済大学(東京:国分寺市 学長:岡本英男)は、SDGs シンポジウム「外国ルーツの子どもたちと地域の未来 ~地域で広げる支援の輪~」を開催します。

海外にルーツを持つ子どもたちが日本語を含む学力を身につけ、望む進路を得ることは、本人にとって重要であるだけでなく、社会全体にとっても有益です。そして、子どもたちへの支援には、直接関わる人々だけでなく、地域住民の理解が大きな助けとなります。

本シンポジウムでは、国分寺地域で海外にルーツを持つ子どもの学習支援に携わるボランティアの取り組みや、大学生の経験談を通じて、現状への理解を深めるとともに、地域社会がどのように関わるべきかを、参加者全員で共に考える機会とします。

【シンポジウム概要】

【開催日時】2025年12月4日(木)16:30~18:00

【会場】東京経済大学 国分寺キャンパス 6号館3階F303教室

【参加費】無料

【定 員】先着40名

【申込方法】事前申込制(先着順)

東京経済大学公式サイト内 イベント情報よりお申込みください

https://www.tku.ac.jp/event/2025/2025-1204-021.html

【申込締切】12月2日(火) ※定員に達し次第、申込受付は終了となります

【主 催】東京経済大学 SDGs 推進委員会

【後 援】国分寺市国際協会

【シンポジウム内容】

第1部「外国ルーツの子どもたちが直面する課題とは」

海外にルーツを持つ子どもたちを取り巻く状況や、国分寺地域でこれらの子どもへの学習支援に 関わるボランティアの方々からの話を聞き、海外ルーツの大学生が経験談を話す予定です。

話し手:森 英子氏(国分寺市国際協会)佐久間 裕子氏(国分寺市国際協会)

北川 裕之 氏(小平市国際交流協会)原 聡子 氏(小平市国際交流協会)

海外にルーツを持つ大学生

聞き手: 小田 登志子(東京経済大学 全学共通教育センター 教授/国分寺市国際協会 会長)

第2部「地域社会で子どもたちを支えるためには」

海外にルーツを持つ子どもたちが持つ課題に、地域としてどういったことができるのか、どのように向きあうのがいいのかなど、参加者で意見交換をすることにしています。